

高速カラー印刷機及び保守業務 仕様書

1. 台数及び設置場所

三原市社会福祉協議会 本部事務所内 1台

2. 使用方法 6年リース

3. 使用期間 6年間（令和3年4月1日～令和9年3月31日）

4. 基本機能等

(1) 本体機能

プリント方式	ライン型インクジェット方式	
印字ヘッド	ピエゾ型、物理解像度：K 600dpi・最大4階調、C/M/Y/GR 300dpi・最大12階調	
インク	油性顔料タイプ C/M/Y/K/GRインク各色1,000ml、500ml	
プリント解像度	K	600dpi（主走査方向）× 600dpi（副走査方向）
	C/M/Y/GR	標準設定時：300dpi（主走査方向）× 300dpi（副走査方向） 高精細設定時：300dpi（主走査方向）× 600dpi（副走査方向）
データ処理解像度	K	600dpi（主走査方向）× 600dpi（副走査方向）
	C/M/Y/GR	標準設定時：300dpi（主走査方向）× 300dpi（副走査方向） 高精細設定時：300dpi（主走査方向）× 600dpi（副走査方向） 文字スムージング(強)：600dpi × 600dpi
ウォームアップタイム	2分30秒以下（室温23℃）	
ファーストプリント（1枚目プリント時間）	5秒以下*1	
連続プリント速度*2	A4 横	片面：130枚/分（130ppm）
		両面：65枚/分（130ppm）
	A4	片面：104枚/分（104ppm）
		両面：52枚/分（104ppm）
	B4	片面：88枚/分（88ppm） 両面：42枚/分（84ppm）
A3	片面：78枚/分（78ppm） 両面：38枚/分（76ppm）	
用紙サイズ	フロント給紙トレイ1/2/3	最大：A3相当（297mm × 432mm） 最小：182mm × 182mm
	ストレート給紙台（片面時）	最大：A3W相当（340mm × 550mm） 最小：ハガキサイズ相当（90mm × 148mm）
プリント領域	最大プリント可能範囲	最大：314mm × 548mm
	周囲余白*3	標準：3mm 最小：1mm 封筒プリント時：10mm
用紙厚（重さ）	フロント給紙	52g/m ² ～104g/m ²
	ストレート給紙台（片面時）	46g/m ² ～210g/m ²
給紙容量	フロント給紙トレイ	500枚×3トレイ（積載高56mm以下）*4
	ストレート給紙台	1,000枚（積載高110mm以下）*4
排紙トレイ容量	フェイスダウン排紙トレイ	500枚（積載高60mm以下）*4
PDL（ページ記述言語）	RISORINC/C IV	
対応プロトコル	TCP/IP、HTTP、HTTPs（TLS）、DHCP、ftp、lpr、IPP、SNMP、Port9100（RAWポート）、	
対応OS	Windows®*5 Mac OS X*5*6 Linux*5*6	
インターフェイス	Ethernet：1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 2ポート、USB2.0	
メモリー容量	4GB	
HDD容量	500GB（使用可能領域：430GB）	
電源	AC100V 50-60Hz 12.0A以上	
消費電力	最大：1,200W以下、稼働準備時（レディ）：150W以下*7、省電力モード時（スリープ）：標準時	
稼働音*9	66dB(A)以下*9/62dB(A)以下*8 稼働準備時（レディ）：43dB(A)以下	
使用環境	温度：15℃～30℃ 湿度：40%RH～70%RH（非結露）	

*1：プリント開始指示受信完了から、排紙完了までの時間。A4普通紙片面横送り、プリント濃度：標準、稼働準備時（レディ）：最終プリント後10分以内、ストレート給紙台、GDフェイスダウン排紙トレイ使用時、チャート：電子協標準パターンJ6/Ver.1。*2：プリント濃度：標準、ストレート給紙台、GDフェイスダウン排紙トレイ使用時、チャート電子協標準パターンJ6Ver.1。*3：保証プリント面積は用紙の周囲から3mm内側の範囲。*4：理想用紙IJ（85g/m²）使用時。*5：対応OSの最新バージョンは当社ホームページをご確認ください。*6：Mac OS、Linuxのご利用には、オプションのOR-PostScriptキットが必要です。*7：ウォームアップ時を除く。*8：音圧レベル時。*9：A4横送り（片面）最高速度印刷時。*10：低速モード時。

(2) スキャナ機能

形式	オートフィーダー（原稿自動送り装置）付きフラットベッドスキャナー	
スキャンモード	カラー/モノクロ/オート	
最大読み取り範囲	原稿台使用時	303mm×432mm
	オートフィーダー使用時	295mm×430mm
光学解像度	600dpi	
オートフィーダー	形式	原稿移動型（両面同時読み取り方式による両面読み取り）
	原稿サイズ	最大：297mm×432mm 最小：100mm×148mm
	用紙厚（重さ）	52g/m ² ～128g/m ²
	原稿最大積載量	最大200枚（80g/m ² ）または25mm以下
コピー機能	出力解像度	K 600dpi×600dpi C/M/Y/GR 標準：300dpi×300dpi 高精細：300dpi×600dpi
	ファーストコピー	7秒以下 ^{*3}
	拡大/縮小	ズーム（50%～200%）
スキャン機能	出力解像度	200dpi/300dpi/400dpi/600dpi
	データ保存方法	本体HDD保存、サーバー保存、メール送信、USBメモリー保存
	データ保存形式	白黒：TIFF、PDF、PDF/A クレースケール/フルカラー：TIFF、JPEG、PDF、PDF/A PDFはマルチページかシングルページを選択可能
	拡大/縮小	ズーム（50%～200%） ^{*4}
電源	100V 50-60Hz 1.2A以上	
消費電力	最大：100W以下	

*1：300dpi、PDF設定時。*2：300dpi設定時。*3：原稿読み取り開始から、排紙完了までの時間。A4普通紙片面横送り、プリント濃度：標準、稼働準備時（レディ）：最終プリント後10分以内、ストレート給紙台、GDフェイスダウン排紙トレイ使用時、チャート：電子協標準パターンJ6/Ver.1。*4：200dpi、300dpiのみ対応。*5：スキャナーのご使用にはスキャナースタンド（HS7000）が別途必要です。（スキャナースタンドの大きさは650mm（W）×755mm（D）×1,005（H）。キャスター回転によるはみ出し部、ストッパー突起部を除く）。

(3) ステーブル機能

方式・出力方向	ステーブル機能付き一段シフト排紙トレイ・フェイスダウン出力	
用紙サイズ	ノンソート時	90mm × 148mm～340mm× 550mm
	シフトソート時	定型：182mm×257mm～297mm×431.8mm 不定形：131mm×148mm～305mm×550mm
積載可能枚数	A3/B4/A4/A4横/B5/B5横/A5横：1,000枚（積載高108mm以下） ^{*1} A5/B6/A6/ハガキ/不定形：100枚	
速度	最高排紙速度	片面：160枚/分 ^{*2}
	オフセット排紙時	片面：125枚/分 ^{*3}
	ステーブル時	片面：45枚/分 ^{*3}
ステーブル	用紙サイズ	最大：A3相当（297mm × 420mm） 最小：B5横（257mm× 182mm）
	用紙厚（重さ）	52g/m ² ～210g/m ²
	ステーブル可能枚数	A4/A4横/B5/B5横：50枚（5.7mm以下） ^{*4} A3/B4：25枚 ^{*4}
	ステーブル位置	フロント側1ヶ所（斜め打）、リア側1ヶ所（斜め打）、中央2ヶ所（平行打）
カートリッジ針数	5,000本	
電源	AC100V 50-60Hz 1.2A以上	
消費電力	最大：110W以下	
稼働音 ^{*5}	66dB(A)以下 ^{*6}	

*1：理想用紙IJ（85g/m²）使用時。*2：A4横送り時。*3：A4横送り、10ページ原稿時。*4：理想用紙IJ（85g/m²）使用時。用紙束質量265g以下。*5：音圧レベル時。*6：A4横送り（片面）、ストレート給紙台、ノンソート時。

(4) 大きさ

使用時：1,875mm(W)×725mm(D)×1,160mm(H)以内

収納時：1,320mm(W)×705mm(D)×1,015mm(H)以内

5. 使用料

次の条件による場合の1ヵ月あたりのカラー印刷機の使用料（保守料を含む機器使用料）並びに各々カラー印刷機に必要な消耗品（インク等）1本あたりの金額とステープル芯の金額（消費税相当額及び地方税額は含めること）を提示すること。

- (1) 使用料には、操作説明費用を含めるものとする。ただし、消耗品は除く。
- (2) 保守料は、月印刷枚数 20,000枚～49,999枚 の保守料金とし、点検と部品交換を含む6年完全修理保証の保守料を提示すること。

なお、保守期間は令和3年3月31日～令和9年3月30日とする。

- (3) 使用料は、使用月の翌月末までに支払うものとする。
- (4) 納入は、既存カラー印刷機（オルフィスEX7250）の撤去と同時に行うこととする。

6. 保守点検

- (1) 定期的に保守点検を行うこと。（半年1回以上）
- (2) 使用中にトラブルが発生した場合には、速やかに対応すること。

7. 操作説明及び運用説明

- (1) 機器導入日から1ヵ月間、操作説明及び機能説明を2回行うこと。
- (2) 機器を使用する上での注意事項（紙詰まり処置・用紙補給方法・印刷途中での稼働停止作業・インク補給）など実演をいれた説明を行うこと。
- (3) 機器添付の説明書以外に簡易的な機能説明マニュアルを使用人数分用意すること。
- (4) 機器導入日から半年後にカラー印刷機の使用状況を調査した結果、運用が円滑に行われていない場合は、再度上記内容（1）（2）を行うこととする。

8. 参考品

理想科学工業 オルフィスGD7330